

# 案 内 書

# 日本農芸化学会 2017年度大会

## 附 設 展 示 会

機器・試薬・書籍等

バイオビジネスアピールエリア  
— 食品・飲料およびバイオシーズ —

展示会期 ◆ 2017年3月18日(土)～20日(月)

展示会場 ◆ 京都女子大学 体育館

主催 ◆ 公益社団法人 日本農芸化学会  
会 長 植田 和光

運営 ◆ 日本農芸化学会2017年度大会実行委員会  
実行委員長：安達 修二(京都大学大学院農学研究科)

展 示 会  
申 込 先

株式会社 工一・イー企画

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 岩波書店一ツ橋別館4階

TEL. 03-3230-2744 / FAX. 03-3230-2479 / E-mail. e\_17jsbba@aeplan.co.jp

## ごあいさつ

謹啓 御社には益々御隆昌のこととお慶び申し上げます。

平素は格別の御高配を賜り、日本農芸化学会の諸事業にご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

すでに御承知のことと存じますが、日本農芸化学会2017年度大会(京都大会)を、2017年3月17日(金):ウェスティン都ホテル京都、18日(土)~20日(月):京都女子大学 を会場として開催させていただく運びとなりました。

日本のバイオサイエンスやバイオテクノロジーの基幹であります当学会の大会には、日本全国の大学・附属研究施設、国公立の研究所・試験研究機関、民間会社・研究機関、バイオ関連を含むベンチャー企業、知財保守関連法人等より、5,000名程の研究者が集まります。大会では「生命・食・環境」の広範囲な分野をカバーする最新の研究成果が発表・討論され、情報交換が行われます。

私ども実行委員会は、全力を挙げて国際的にも水準の高い大会の成功のために努力したいと念じている次第であります。

本大会では、京都女子大学 体育館において、バイオサイエンスやバイオテクノロジー領域の機器・試薬・書籍・食品等の大会附設展示会を開催いたします。さらに参加者に好評のランチョンセミナーを開催し、幅広い「農芸化学関連分野」で貢献されてこられた数多くの企業からの情報発信を、これまでどおり期待しております。また、ゲノムサイエンスの急速な進展とプロテオームやメタボローム解析を基盤としたポストゲノム研究やケミカルバイオロジーなどの展開により、食品・飲料・医薬品開発が活発になっております最近の事情を鑑み、本大会では、展示会場の一面に「バイオブジネスアピールエリア」を設け、これまでの企業種とともに、バイオ関連ベンチャー企業・団体からの出展も歓迎いたします。

2017年度大会の展示会では、多くの企業の方に御参画いただき、企業から参加者へ活発な情報発信をしていただくとともに、参加者から企業へのフィードバックもできるように計画しております。

本大会は、生命・食・環境研究の中核を担い、バイオサイエンスやバイオテクノロジーを基幹としてその産業化をめざす、世界に類を見ない総合科学を推進する場であり、また企業と参加者との交流の場でもあります。奮ってご出品下さいますようお願い申し上げます。

なお、展示会運營業務は株式会社エー・イー企画に委託しておりますので、お問い合わせ・お申し込みは同社宛に直接御下命下さいますようお願い申し上げます。また、会場設定は、出展企業数により多少の変更があることをあらかじめご承知おき下さいますようお願い申し上げます。

謹白

公益社団法人 日本農芸化学会

会 長 植田 和光

日本農芸化学会 2017年度大会

実行委員長 安達 修二

(京都大学大学院農学研究科)

### ◆日本農芸化学会とは...

日本農芸化学会は、農芸化学分野の基礎及び応用研究の進歩を図り、それを通じて科学、技術、文化の発展に寄与することにより人類の福祉の向上に資することを目的として、1924年に設立された学術団体です。以来、組織の面でも着実に発展し、1957年に文部省の認可によって社団法人となり、2014年に創立90周年を迎えました。また、2012年3月1日付けで公益社団法人へ移行いたしました。

バイオサイエンス・バイオテクノロジーを中心とする多彩な領域の研究者、技術者、学生、団体等によって構成される本学会は、創立70周年を迎えた1994年を契機に、さらに一層の展開を図るべく、国際活動の推進、国際学術集会開催の積極的支援を実現し、実用性と応用性を基盤とする農芸化学の重要性を広く紹介しています。

# 日本農芸化学会2017年度大会 開催概要

名称	日本農芸化学会2017年度大会 Annual Meeting of Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry 2017		
会期	2017年3月17日(金)～20日(月)		
会場	3月17日(金): ウェスティン都ホテル京都 3月18日(土)～20日(月): 京都女子大学 一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等		
主催	公益社団法人 日本農芸化学会		
運営	日本農芸化学会2017年度大会実行委員会		
	実行委員長	安達 修二	京都大学大学院農学研究科
	副実行委員長	河田 照雄	京都大学大学院農学研究科
		成田 宏史	京都女子大学家政学部
		米谷 俊	近畿大学農学部
		乾 博	大阪府立大学 地域保健学域

各担当 実行委員 ※○係代表

※2016年7月21日現在

## 総務(接待兼務)

○入江一浩	京都大学大学院農学研究科
三芳秀人	京都大学大学院農学研究科
中山玲子	京都女子大学家政学部
松本晋也	京都女子大学家政学部
由里本博也	京都大学大学院農学研究科
河井重幸	京都大学大学院農学研究科

## 授賞式・受賞講演・懇親会

○小川 順	京都大学大学院農学研究科
秦 洋二	月桂冠株式会社
白井 理	京都大学大学院農学研究科
黒田浩一	京都大学大学院農学研究科
小林 優	京都大学大学院農学研究科

## プログラム

○保川 清	京都大学大学院農学研究科
炭谷順一	大阪府立大学生命環境科学研究科
萩下大郎	京都学園大学バイオ環境学部
倉持幸司	東京理科大学理工学部
森山達哉	近畿大学農学部
鈴木秀之	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
福渡 努	滋賀県立大学人間文化学部
増田誠司	京都大学大学院生命科学研究科
梅沢俊明	京大大学生存圏研究所
伊福健太郎	京都大学大学院生命科学研究科
三上文三	京都大学大学院農学研究科
福澤秀哉	京都大学大学院生命科学研究科
井上和生	京都大学大学院農学研究科
水谷正浩	神戸大学大学院農学研究科

## 会場

○永尾雅哉	京都大学大学院生命科学研究科
八田 一	京都女子大学家政学部
中川好秋	京都大学大学院農学研究科
廣瀬潤子	滋賀県立大学人間文化学部
都築 巧	京都大学大学院農学研究科
森田重人	京都府立大学大学院生命環境科学研究科
久世雅樹	神戸大学大学院農学研究科
渡辺大輔	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科
天津敏生	筑波大学(元奈良先端科学技術大学院大学)

## 受付

○谷 史人	京都大学大学院農学研究科
門間敬子	京都女子大学家政学部
大日向耕作	京都大学大学院農学研究科
中川究也	京都大学大学院農学研究科
庄司 翼	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科

## シンポジウム

○阪井康能	京都大学大学院農学研究科
河村幸雄	京都女子大学家政学部
松尾道憲	京都女子大学家政学部
森 直樹	京都大学大学院農学研究科
河内孝之	京都大学大学院生命科学研究科
亀井康富	京都府立大学大学院生命環境科学研究科
高木博史	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科
谷森神治	大阪府立大学生命環境科学研究科
清水伸泰	京都学園大学バイオ環境学部
田茂井政宏	近畿大学農学部
北島佐紀人	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科
栗原達夫	京都大学化学研究所
矢崎一史	京大大学生存圏研究所
井上善晴	京都大学大学院農学研究科
水野雅史	神戸大学大学院農学研究科

## 会計

○木岡紀幸	京都大学大学院農学研究科
村上一馬	京都大学大学院農学研究科
安部真人	京都大学大学院農学研究科

## 展示・ランチョンセミナー

○松村康生	京都大学大学院農学研究科
桂 博美	京都女子大学家政学部
植田充美	京都大学大学院農学研究科
丸山伸之	京都大学大学院農学研究科

## ミキサー

○喜多恵子	京都大学大学院農学研究科
片岡道彦	大阪府立大学生命環境科学研究科
林由佳子	京都大学大学院農学研究科

## 託児ルーム

吉野世美子	京都女子大学家政学部
-------	------------

## ジュニア農芸化学会

○神戸大朋	京都大学大学院生命科学研究科
後藤 剛	京都大学大学院農学研究科
木村泰久	京都大学大学院農学研究科
村井正俊	京都大学大学院農学研究科
奥 公秀	京都大学大学院農学研究科
梶川昌孝	京都大学大学院生命科学研究科

## Frontiers シンポジウム

○岸野重信	京都大学大学院農学研究科
兒島憲二	京都大学大学院農学研究科
吉永直子	京都大学大学院農学研究科
安部真人	京都大学大学院農学研究科
木村泰久	京都大学大学院農学研究科
安藤晃規	京都大学大学院農学研究科
竹内道樹	京都大学大学院農学研究科

# 附設展示会 出展募集要綱

- 展示会 会期 2017年 3月 18日(土) 9:00 ~ 17:00  
(予定) 19日(日) 9:00 ~ 17:00  
20日(月) 9:00 ~ 14:00

- 展示会 会場 京都女子大学 体育館  
(〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35)

## 小間規格と出品料金

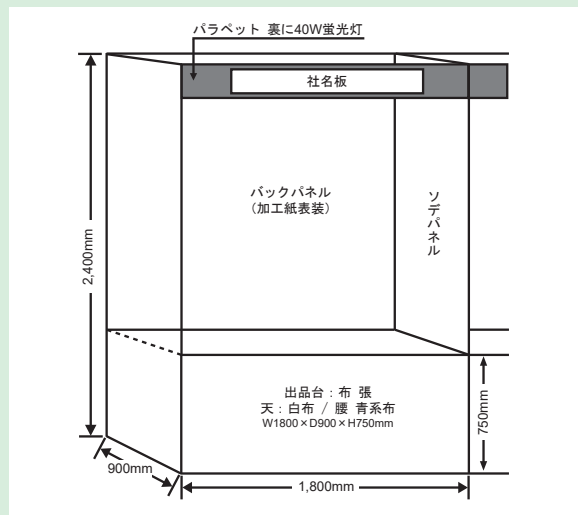
### Aタイプ (募集小間数:100小間)

#### 募集対象

参加者の研究等に必須の、機器類、試薬類、ディスプレイ製品類、ソフトウェア・データベース等を含むコンピュータシステム類、受託・解析等のサービス類、大学や研究施設等の紹介・募集、その他研究に携わるサービス類の出展を募集いたします。

◎ 出品料金 1小間：¥ 210,000(消費税別)

申込締切日：2016年 12月 20日



- 小間サイズ：W1,800×D900×H2,400mm
- セット内容：出品台 (W1,800×D900×H750mm)、社名板、蛍光灯 (FL40W)、イス1脚 (複数小間の申込みの場合は異なります)
- バック・ソデパネルは、ベニヤパネルを使用し、加工紙表装いたします。出品台は台上を白布、腰を青色系の布にて覆います。
- 隣接する小間との仕切りとなるソデパネルの奥行きは900mmです。
- 申込み時の小間位置(場所)の指定は、受けできません。グループ会社間や協力・協同会社間で小間を隣接されたい希望がある場合、申込み時「申込書の通信欄」に記入いただく等、申込締切日までにご連絡ください。また、対面小間(6小間以上)や島小間(4小間以上)をご検討の際にはご連絡ください。
- 自社小間前にカーペットを敷く場合は、小間前 奥行 300mmです。対面小間の場合でも通路全てを敷くことはできません。
- ◆展示説明員の名札は1小間に付き4枚配布いたします。

### Bタイプ (募集小間数:10小間)

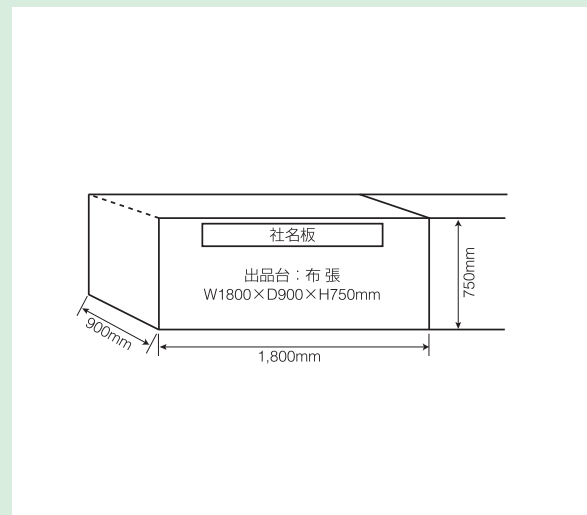
#### 募集対象

関連書籍の出版社、書店や翻訳会社は、Bタイプでの募集となります。

※Bタイプの出展会場は未定です。

◎ 出品料金 1小間：¥ 45,000(消費税別)

申込締切日：2016年 12月 20日



- 小間サイズ：W1,800×D900×H750mm
- セット内容：出品台 (W1,800×D900×H750mm)、社名板、イス1脚 (複数小間の申込みの場合は異なります)
- 出品台は台上を白布、腰を青色系の布にて覆います。
- ◆展示説明員の名札は1小間に付き4枚配布いたします。

※表示金額は、消費税を含んでおりません。

●電力を使用する場合は、別途お申込みが必要です。



- ◆ 申込方法  
日本農芸化学会2017年度大会展示会ホームページ専用フォームよりお申込みください。  
<http://www.aeplan.co.jp/jsbba2017/>  
お申込みのご入力送信後には、(1)入力完了メールをご確認ください。(2)展示会事務局より受付受理の回答メールをお送りいたします。なお、募集対象以外からのお申込みは検討後に回答となりますことご了承ください。  
専用フォームからお申込みができない場合は、下記の申込・問合せ先までE-mailでご連絡ください。
- ◆ 申込締切日  
2016年12月20日  
※予定小間数となり次第申込締切の期日前でも締切りとさせていただきます。ご了承ください。
- ◆ 申込書の受理  
原則 申込先 エー・イー企画に届いた時点を正式な申込日とさせていただきます。但し、募集対象外の企業等から申込みが来た場合は、実行委員会と相談の上、出展の有無を最終決定します。
  - ・お申込み受理後、請求書を発送いたします。
  - ・請求書に記載された振込期日までにお振込みください。
  - ・振込手数料は出展社の負担となります。
- ◆ 振込期日  
2017年 2月28日  
※出品料金を請求後、何らかの諸事情で振込期日までに振込みが間に合わない場合は、必ずご連絡ください。ご連絡がなく振込みがない場合、開催当日 展示会場に小間はございませんが、次項の出展の解約に基づき解約料金をお支払いいただくこととなります。ご了承ください。
- ◆ 出展の解約(キャンセル)について  
申込受理後は、実行委員会が不可抗力と認めた事故以外は原則解約することはできません。実行委員会が解約を認めた場合でも、出展の解約理由を書面にてお送りいただき、受領した日を基準として解約料金をお支払いいただきます。  
  
解約 2016年12月20日迄に受領した場合 …… 請求額(出品料金)の50%の金額をお支払いいただけます。  
料金 2016年12月21日以後に受領した場合 …… 請求額(出品料金)の全額をお支払いいただけます。
- ◆ 申込・問合せ先  
株式会社エー・イー企画 日本農芸化学会2016年度大会展示会係 担当:長瀬 仁・安藤 敬  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 岩波書店一ツ橋別館4階  
TEL. 03-3230-2744(代表) / FAX. 03-3230-2479 / E-Mail: e\_17jsbba@aeplan.co.jp
- ◆ 小間の割当て  
申込締切日後、出品物の種類・形状・重量・小間数などを考慮し、小間割りした後「出品確認書」にて申込担当者へご通知申し上げます。  
出展社説明会は行いませんのでご了承ください。  
※申込み時の小間位置(場所)の指定は、受け付けできません。  
※グループ会社間や協力・協同会社間で、小間を隣接されたい希望がある場合、申込み時「申込書の通信欄」に記入いただく等、申込締切日までにご連絡ください。
- ◆ 展示出品台の有無  
基礎小間には既設の出品台が付属しておりますが、既設出品台が不要な場合、申込書の「出品台の有無」欄で不要の小間数分(展示台数分)をご記入ください。また、基礎小間を利用せず自社にて特別装飾を施す予定のある場合には、「特別装飾の有無」欄にチェックを入れてください。
- ◆ 出品物の管理  
各出品物の管理は出展社が責任をもつものとし、展示期間中の出品物の盗難・紛失・火災・損傷など、不可抗力による出品物の損害に対して、補償などの責任は一切負いませんのでご了承ください。
- ◆ 出品物の搬入・搬出の日程(予定)  
搬入: 2017年 3月17日(金) 14:00 ~ 18:00  
搬出: 2017年 3月20日(月) 14:00 ~  
※搬入・搬出の日程は、変更となる場合がございますので、会期約1ヶ月前までにご案内する「出品確認書」に記載します日程をご確認ください。
- ◆ 出品物搬入出の配送等について  
搬入出の配送予定を出品申込書に記載ください。  
※出品物の搬入出については、荷捌き場所に限りがあるため一括搬入計画として富島海運を推奨しております。  
※宅配便等での搬入出の場合、会場および展示運営管理側では、荷物を受け取ることはできませんので、必ず自社の小間宛で直接受取るようお願いいたします。

# バイオビジネスアピールエリア

— 食品・飲料およびバイオシーズ —

## ご案内

前項ご案内いたしましたように、大会では会員の研究発表(一般講演)、シンポジウム、ランチョンセミナーとともに、附設展示会を開催いたします。これは、関連機器・試薬・書籍・新製品等を通して、益々多様化、高度化する「生命・食・環境」の広範囲な分野をカバーするバイオサイエンスやバイオテクノロジー領域の最新情報・成果を参加者に提供することを目的としております。

これまでの日本農芸化学会大会におきまして、数多くの企業の方々から、本趣旨にご賛同いただき、関連機器・試薬の情報展示に加え、食品・飲料をご出品、ご提供いただき、その多大なご支援に心より感謝しております。参加者に情報発信するとともに、参加者から企業への情報のフィードバックもできるようなエリアにすべく鋭意準備を進めております。どうかこれまで以上のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

現今、ゲノムサイエンスの急速な進展とプロテオームやメタボローム解析を基盤としたポストゲノム研究やケミカルバイオロジーなどの展開を基盤として、多くの革新的技術が開発され、そうした技術をも取り入れた新開発品や健康飲料や健康食品が製品化されております。そこで、これまでに出展された方々に加えて、これまで出展されたことのない日本全国の大学法人・附属研究施設、国公立の研究所・試験研究機関、民間会社・研究機関、バイオベンチャーを含むベンチャー企業、知財保守関連法人などの会員ならびに非会員企業の方々にも、“食品・飲料アピールエリア”と“バイオシーズアピールエリア”への御参画を呼びかけております。本大会でのアピールエリアへの出展により、より詳しく身近に、有用な情報を参加者に提供することも可能になると確信しております。

本バイオビジネスアピールエリアにも奮ってご出品・ご出展していただけますようお願い申し上げます。

### 募集要項

#### ● 募集対象：

食品・飲料アピールエリア：

日本農芸化学会にご賛同いただける企業

バイオシーズアピールエリア：

大学法人・附属研究施設、国公立の研究所・試験研究機関、民間会社・研究機関、バイオベンチャーを含むベンチャー企業、知財保守関連法人など

- 日時： 2017年 3月18日(土) 9:00～17:00  
(予定) 3月19日(日) 9:00～17:00  
3月20日(月) 9:00～14:00

● 会場：未定

● 申込方法：規定の申込書に必要事項を記入の上、お申込みください

● 申込締切日：2016年 12月20日

● 申込先：株式会社 エー・イー企画

日本農芸化学会大会展示会係

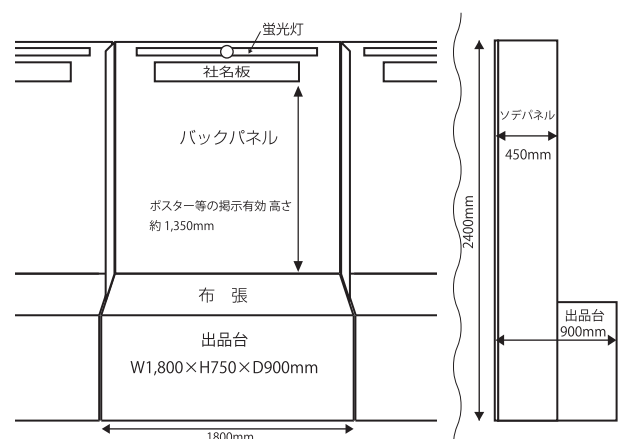
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 岩波書店一ツ橋別館4階

電話. 03-3230-2744 FAX. 03-3230-2479

E-mail : e\_17jsbba@aeplan.co.jp

#### ● 参加料金：1小間 — ￥100,000(消費税別)

※電力をご使用の場合は、別途お申込みが必要です。



#### ● 小間規格

バックパネル (W1,800 × H2,400mm) と

出品台 (W1,800 × H750 × D900mm/布にて覆います)、社名板、

蛍光灯 (40W) をご用意いたします。

バックパネルは、ベニヤパネルを使用しますので、画鋏でポスター等を掲示することができます。